

福岡国際空港にカルコパライド太陽電池実証事業展示ブースを設置 — 福岡空港から始まる次世代の太陽電池！—

当社は、福岡県が公募する「令和7年度 福岡県ペロブスカイト太陽電池等実証事業」に2025年9月2日付で採択され、同年12月より福岡国際空港国際線ターミナルの屋根上で薄膜型太陽電池「カルコパライド太陽電池」の実証試験を進めております。[\(2025年9月19日お知らせ済\)](#)

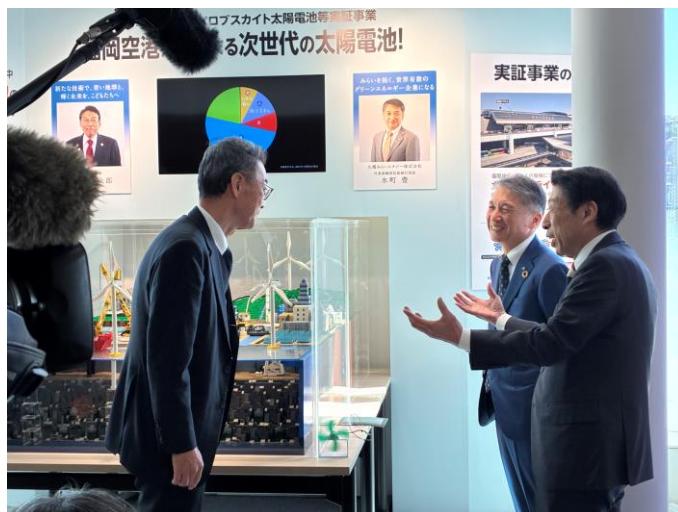
この度、カルコパライド太陽電池の認知度向上や普及促進を目的に、福岡国際空港国内線ターミナル2階に本実証事業に関する展示ブースを設置しました。

この展示ブースでは、本実証事業の概要説明やカルコパライド太陽電池レプリカに加えて、当社が保有する再生可能エネルギー主要5電源の発電所を分かりやすく表現したジオラマも設置しております。空港をご利用の皆さまに次世代エネルギーの可能性を感じていただける内容となっていますので、ぜひ、お立ち寄りください。

設置初日には、福岡県知事 服部誠太郎様と福岡国際空港株式会社代表取締役社長執行役員 田川真司様をお迎えし、ブース見学会を開催しました。服部知事からは「成果を期待しています」とのお言葉もいただきました。

当社は、本事業を通じて、次世代型太陽電池技術の研究開発をさらに推進し、カーボンニュートラルの実現に向けて貢献してまいります。

■知事見学会（1月14日）の様子



（左から）福岡国際空港 田川社長、当社社長 水町、服部誠太郎 福岡県知事



展示ブース（設置場所は後掲）

カルコパライタ太陽電池実証事業 展示ブース設置場所のご案内(福岡空港国内線2F)



以上